

記入例

①提出日を記入

②印鑑を押印

○年 ○月 ○日 豊見城市長 殿	整理番号	
住所 〇〇県〇〇〇市 〇〇〇番地 〇〇アパート101号室	フリガナ	トミグスク タロウ
	氏名	豊見城 太郎 
	個人番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
電話番号 098-850-0364	性別	男 女
	生年月日	明・大 平 61 ・ 4 ・ 1

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

③必要箇所をすべて記入

（住所、氏名（フリガナ）、個人番号（マイナンバー）、性別、電話番号、生年月日）

※記載内容（住所や氏名）に変更があった場合は、「変更届」の提出が必要です。

変更届出の提出締切：寄附した年の翌年1月10日まで

④寄附金受領証明書の受領日（寄附年月日）と寄附金額を記入

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 ○年 ○月 ○日	20,000 円

⑤「確定申告をしない方」はチェックを記入

（注） 確定申告をしない方は、確定申告書の提出を要しません。確定申告書の提出を要する場合は、それぞれ下の欄の口にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である



（注） 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

⑥寄附自治体が5団体以内の場合はチェックを記入

（注） 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である



（注） 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

（切り取らないでください。）

令和 年寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書  
道府県民税

住所	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <b>豊見城市の記入欄になりますので、記載不要です。</b> </div>	受付日付印
氏名		殿

受付団体名 豊見城市